

もも管理特報 No. 1

平成30年3月8日
みな穂もも振興会
みな穂農業協同組合
新川農林振興センター

○3月～もも開花前の作業チェック表

作業内容	作業のポイント	実施適期	実施予定日 (自己記入)	実施日 (自己記入)
休眠期せん定の完了	・ 第1回目防除前までに完了する	3/15頃まで		
ほ場の排水性見直し (排水路の手直し)	・ 園地内で雨水が数日溜まる箇所は心土 破砕等の実施や、排水路を整備する	発芽前まで		
防除の実施 (石灰硫黄合剤、 ホーマイコート)	・ かけムラのないよう散布 ・ 縮葉病多発園地は2回散布する	発芽前3/20頃 まで		
苗木の定植	・ 苗木到着後速やかに実施	発芽前まで		
摘蕾	・ 樹勢に合わせ、慣行は70～80%程度、 とやま型体系は90%程度摘蕾する ・ 花粉のない品種(川中島白桃等)は上向き の蕾を軽く落とす程度とする	3月中下旬～		

病害虫防除について

(1) 薬剤防除

発芽前の縮葉病の重要防除時期である。以下の薬液をかけムラのないよう散布する。なお、第1回の薬剤散布までにせん定及び枝の片付けが終わるように、計画的に作業を進める。

回数	散布時期	対象 病害虫	薬剤名と希釈倍率	100% 当たり 薬剤量	散布量 % / 10a	実施 予定日 (自己記入)	実施日 (自己記入)
1	3月20日頃 までに散布 (発芽前)	縮葉病※1	石灰硫黄合剤 または ホーマイコート※2 展着剤 マイリノー	7倍 50倍 20,000倍	14% 2,000g 5cc	300	

※1：縮葉病対策として、どちらかの剤を暖かい風の無い日に散布する。

※2：石灰硫黄合剤による肌のかぶれや、器具の損傷が激しい場合はホーマイコートを利用する。ただしホーマイコートは、胴枯病、黒星病、越冬病害虫に対して登録がない。

- 農薬散布の際は、周辺の他の作物に薬剤が飛散しないよう十分注意する！
- また、散布を事前に告知するなど、近隣住民等へも十分に配慮する。

(2) コスカシバ対策

- ・ 4月中～下旬頃までに、樹齢の若い樹を対象にガッドサイドSを樹幹部(主幹)及び主枝(主幹から50cm程度)に塗布する。主枝背面に日焼け止めとして塗布しても良い。
- ・ なお、成分ME Pを含む殺虫剤(ガットサイドS、トラサイドA乳剤、ラビキラー乳剤、ガットキラー乳剤、サッチューコートS)の樹幹処理は、収穫後～収穫までの総使用回数は1回以内である。